

西公民館だより

2018年 12月10日
発行 西公民館
福山市西町1丁目19-2 Tel 925-0442
✉ nishi-kouminkan@city.fukuyama.hiroshima.jp

西学区防災訓練(避難訓練・図上訓練)

福山市総合防災訓練に合わせて西小学校で開催

■<<避難訓練>>11月25日(日)「豪雨災害」を想定した「総合防災訓練」が福山市全市を挙げて行われました。これに合わせて西学区自主防災協議会(会長:金藤昭司)は「西学区水害対応避難訓練」を実施しました。

福山市が9時に「避難準備・高齢者等避難開始」を発令すると、緊急メールが携帯・スマホに届きます。西学区ではこれを「避難指示(緊急)」と読み替えて、「直ぐに逃げろ!」と直ちに西小学校体育館へ敏速な避難行動をとる訓練をしました。

9時に西小学校体育館内に西学区自主防対策本部(金藤本部長)が設置され避難者の受け入れ体制がとられました。



【「しんどい」けど避難せんとね!】



【やっと着いて、大安心じゃ】

◆その後緊急メールを見た西学区の皆さんが続々と西小体育館に避難され、避難者カードに各自で氏名等を記入しました。今回は各町内会としての動員は特に掛けず各自の判断で避難して頂きましたが、対策本部の想定をはるかに超える220名の皆さんが避難訓練に参加されました。これは西学区

の防災意識の高さを証明するものです。



「何で名前書くんじゃ?」「誰か分らんじゃ、お世話が出来んじゃろがー」

◆こうして避難者が集合した後、徳山威雄(西学区まちづくり推進委員会委員長)のミニ講話「避難の大切さ」を聞いて、避難訓練の重要性を再認識しました。



徳山委員長の講話風景



対策本部役員の皆さん

◆10時に閉会式をしました。全員に災害非常食(シトルトおかゆとサンマ缶)の配布で避難訓練は終了しました。避難準備が発令されたら、迷わず安全な場所に逃げる事が肝要です。

■「西学区水害対応避難訓練」に引続き、10時30分より西公民館で「図上訓練」が福山市南消防署(本瓦署長他2名)の指導者の元、西学区自主防の本部役員や班長・幹事・防災リーダーなどの自主防役員24名の参加により開催されました。



【本瓦南消防署長の挨拶】

◆図上訓練とはコントローラー(消防署職員)がプレーヤー(自主防本部役員等)に災害時に起こりうる被害や状況を時間を追って順次に付与して、それに対する対応(情報収集・伝達・意思決定・情報共有)をプレーヤーが検討し、決定することにより進行する訓練です。

この図上訓練は西学区としては初めての経験で、戸惑いやうろたえがあり、コントローラーから次々と出される課題に、時間がない中をグループ内で相談し結論を出して、情報を交換するという、災害対応の大切さ(特に対策本部)が分りました。

今まで西学区は防災訓練をしていますが、災害が起きても成す術がなく沈黙していたので、大変役立つ訓練になりました。



【図上訓練の様子】

◆会議室を利用しました。正面にコントローラー2名、中央に対策本部5名、四方(4ブロック)に各4名、別室では一斉メール配信の担当者1名が配置して、災害時を想定した真剣な訓練でした。

◆時間の制約の中で意思決定や情報交換に時間がかかったりして、失敗もありましたが、西学区の一斉メール配信のシステムが想定以上の配信で有効に機能しました。ただ配信用のパソコンが離れた部屋にあるため付与された文書を届けることも一役必要でした。各ブロックは実際、遠方ですが訓練の為、参加者が一堂に会して、携帯電話を所持して、相手が見える場所で電話をかけて交信をしました。



上 メール配信の担当 伊達副会長
下 徳山委員長の閉会挨拶

◆災害時に緊急情報を伝える手段は一斉メールが最も役に立つということで、学区のホームページを担当している伊達副委員長に今回の図上訓練のメール配信を担当してもらいました。

◆図上訓練を終えて、講評と閉会の挨拶を徳山委員長がしました。避難訓練では予想以上に多数の参加者で大変有意義だったこと、福山で初めての一般市民が取り組んだ図上訓練では、自主防災を担う役員の資質向上に大いに役立ったことを喜ばれました。

楽しい催しで人と地域を元気に

西学区ふれあい大バザー開催!

城北太鼓の演奏に観客は感動!



佐波芸能保存会
子ども神楽 清めの舞

■地域のまちづくり運動を進め、世代を越えて交流を深めようと「第23回西学区ふれあい大バザー」(西学区まちづくり推進委員会主催)が11月11日(日)に福山市西町の西小学校、西幼稚園で開催されました。バザーは2会場イベントを企画、子どもからお年寄りまで多くの人を訪れました◆晴天の秋空の下、午前10時にスタート。開会式に引続き、城北中学校生徒による城北太鼓の迫力ある演奏がオープニングを飾りました◆西小学校体育館のステージでは、同小学校の4年生の語りと歌「伸ちゃんの三輪車」や、西幼稚園の園児や、地元保育所の子どもによる手話歌とリズム体操

が披露されました◆そのほか佐波芸能保存会の子ども神楽など様々なプログラムが観客を魅了しました。西幼稚園での、ふわふわドームや理科実験、絵本のとりかえっこには、沢山の子どもが喜んで参加。西小学校舎内での制服のリユースや掘り出し市も好評で、行列が出来る程でした。◆校庭にはうどん・ぜんざい・おでん・焼き鳥・綿菓子・焼きそば・野菜・餅の模擬店が並び、ひしめき合っていました◆バザー後半には、「西学区知っとる検定!」やお楽しみ抽選会、餅まきもあり、来場者は秋の休日が大いに満喫しました。



【4年生の語りと歌】



【ノスタルジックサウンド・ジャオ ♪ 青い山脈等】



【鼓情太鼓の勇壮な演奏】



【バザー会場入り口】



【行列のできた模擬店】



【餅つき】



【掘り出し市】



【食堂の賑わい】



【西保育所の園児】



【西幼稚園の園児】



【紅葉保育所の園児】

編集後記 11月11日に「西学区ふれあい大バザー」が行われ、300人を超える大会役員による盛大なイベントとなりました。2週間後の25日は「西学区水害対応防災訓練」が行われました。220人の参加者による避難訓練と24人の役員による図上訓練をしました。二つの行事の共通点は「命の尊厳」でした。防災訓練では「折角頂いた命を粗末に出来ない」と命を守る訓練をしました。そしてバザーでは「隣近所や地域社会の人々と共に生きるためにも、楽しく喜ぶ行事を作り上げました。人は世の中を独り善がりて生きるのではなく、お互いの命を大切に、助け合い、明るく暮らすことこそ「本当の幸せ」と言えるのではないかと、二つの行事はそれを教えてくれました。
(西公民館長)